

収支計算書に対する注記

1、資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金・未収金・前払金・立替金・仮払金・未払金・前受金及び預り金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2、次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	4,245,696	6,921,063
未収金	8,182,080	6,205,430
合計	12,427,776	13,126,493
未払金	8,243,147	6,655,818
前受金	50,040	0
預り金	82,570	84,735
合計	8,375,757	6,740,553
次期繰越収支差額	4,052,019	6,385,940

3、科目間の流用について

(1) 科目間流用

科 目	補正後の予算	科目間流用額	流用後予算額
就業開拓提供費支出—旅費交通費支出	100,000	2720	102,720
就業開拓提供費支出—通信運搬費支出	700,000	△ 2720	697,280
就業開拓提供費支出—租税公課費支出	231,000	46,370	277,370
就業開拓提供費支出—諸謝金支出	80,000	△ 46,370	33,630
シニアワークプログラム事業費支出—消耗品費支出	5,000	△ 2100	2,900
シニアワークプログラム事業費支出—教材費支出	20,000	3100	23,100
シニアワークプログラム事業費支出—賃借料支出	2,000	△ 500	1,500
シニアワークプログラム事業費支出—委託費支出	7,000	△ 500	6,500